



“ 吉祥寺は創造的な意欲をかき立てるところと 穏やかさが程よく融合しているまち ”

トクマルシューゴさん
ミュージシャン

実家がお隣の練馬区なので、子どもの頃から吉祥寺にはしょっちゅう自転車遊びに来ていました。10代の終わりから音楽の武者修行でアメリカに住んでいたんですが、数年して日本に戻って来てからも、住むならやっぱり吉祥寺周辺がいいな、と。都心に行けば行くほどガツガツした人が多い印象があつてちよつと疲れちゃうんですけど、吉祥寺は創造的な意欲をかき立てるところと穏やかさが程よく融合していて居心地がいいんです。

昔から、民族楽器やおもちゃの楽器などを集めていて、今もそれを音楽に使うことが多いんですけど、吉祥寺には個性的な楽器店や雑貨店が多いので、それらを集めるのにも最適でした。アメリカと比べても「吉祥寺の方がそろってるぞ!」と思えましたね。最近アニメ『ちいかわ』の音



トクマルシューゴ

東京都出身。ギターを中心に多様な楽器や玩具を用いた多重録音による実験的なポップミュージックの作り手として知られる。2004年、ニューヨークのレーベルよりファーストアルバム『Night Piece』をリリース。以降、自身のアルバムのみならず、CM、舞台、映像作品などの音楽に携わり、2017年には井の頭恩賜公園100周年記念映画『PARKS』の音楽も担当。2022年より放送中のアニメ『ちいかわ』の音楽も話題に。

楽を担当したことで聴き手の幅が広がったなと感じています。映像に音をアテる場合、いろんな人の感情の動きを理解する必要があるので、よくカフェで聞き耳を立てながら、みんながどんな話をしてるのかりサーチするんです。吉祥寺には最先端過ぎない良さがあつて、オルタナティブ(型にはまらない)な考え方を知る上でヒントになります。実はここ数年、音楽と保育について研究をしていて、保育士を目指す人のための大学で授業を担当しています。Eテレやアニメの音楽を担当していることもあつて、社会の中で子どもたちが日常的に音楽やアートに関わるきっかけをどうやったら作れるのかを模索しているところです。まちや行政でもうまく連携しながら、音楽でできる教育的な活動にも力を入れたいと思います。